

# 鬼図鑑

おにずかん

さく  
にじえます

本書はおそらく日本に現存しているであろう様々な鬼の特徴を  
まとめたものである。

万が一、鬼に襲われた際には役立てて欲しい。

ただし、ここに記載されている内容が全てではなく、また鬼の  
名称も地域によっては変わる可能性もある。

鬼を見かけた場合、とにかくまずは全力で逃げるのが鉄則だ。

# 鬼

おに

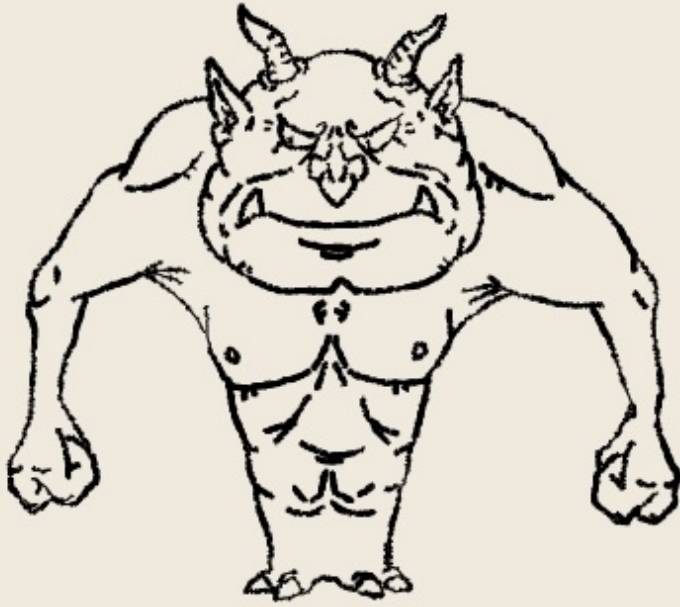
鬼族の原種であり、極めて凶悪。  
牛の角を生やし、虎の牙と爪をもつ。  
人間を襲い、どこまでも追いかけてくる。



# 高鬼

たかおに

鬼の亜種。  
非常に獰猛な性格ではあるが、他の鬼と比べて極端に脚が短い。  
そのため地面よりも高い場所へ上ることができない。



すわりおに

# 座鬼

鬼の亜種。  
残忍な性格で恐れられているが、非常に手が短い。  
そのため近づかれた場合でもしやがみ込むことで、その魔の手から逃げられることが多い。





人間を襲う際にルールを設ける鬼。  
その場にある色を宣言し、その色に触れている者を襲うことはない。

# 色鬼

いろおに

# 宿鬼／壁鬼

やどおに

鬼の亜種。

色鬼と同じく人間を襲う際にルールを設ける鬼であるが、非常に残酷なルールである。

宿鬼は近くにあるにある二つの物（柱や木など）を『宿』に指定し、その間に立つ。

宿に触れている者を襲うことはないが、宿鬼の「宿替え」の宣言で、もう片方の宿に移らなければならぬ。

そうして宿替えを繰り返して宿から宿へ移る人間を襲うのだ。建物の中に現れたときは壁鬼と呼ばれ、壁とその反対側の壁を同じく「宿」として人間を襲う。



めかくしおに

# 目隠鬼

目隠鬼も人間を襲う際にルールを設ける。その名の通り、目を隠して現れるため、目の前に現れたとしても襲われるとは限らない。ただ、聴覚に優れているため声を潜め物音を出さないようにじっとしている必要がある。





きおに

# 木鬼

鬼の亜種。  
特殊な力をもつ鬼で、襲われた人間は木になってしまふ。  
だが救う方法が一つだけあり、木になった者の股の下をくぐると  
人間に戻るといふ。  
木鬼から助かるには、これを繰り返して諦めさせるしかない。



こおりおに

# 氷鬼

鬼の亜種。  
木鬼と同じく特殊な力をもつ鬼。  
襲った人間を氷に変えてしまう。  
やはり救う方法が一つだけあり、  
こちらは手を触れるだけで  
元に戻すことができる。



しまおに

# 島鬼

鬼の亜種。  
俊敏な鬼であるため注意が必要。  
ただし、『島』と呼ばれる魔方阵の中に入ってくることはない。  
書きはじめと書き終わりを繋げた輪（形は問わない、四角でも三角でも可）  
が島となり、誰でも作ることが可能である。  
ただし、島の効力は連続十秒間しかもたないため、いくつか島を作り  
行き来する必要がある。



たまおに

# 球鬼

人間を襲う際にルールを設ける鬼。  
球を投げつけて人間を襲うが、それ以外の方法で襲ってくることはない。  
球を受け止めて遠くに投げてしまえば、助かる可能性は高い。



しっぽおに

# 尻尾鬼

人間を襲う際にルールを設ける鬼であるが、ほとんど襲われることはない。腰やお尻から何かしっぽのようなもの（何かの紐やハンカチなど）を出している人間のみを襲う。





# 影踏鬼

かげふみおに

鬼の亜種。  
特殊な力をもつ鬼。  
腕がないため、直接捕まってしまうことはない。  
しかし、影踏鬼は人間の影を踏むことで捕らえる  
ことができる力をもっている。  
何か大きな影の中に自分の影を紛れ込ませること  
でその力を無効化できる。

へびおに

# 蛇鬼

鬼の亜種。  
下半身が蛇のようになっており、走ることはできない。  
そのため移動速度が遅いので走って逃げるのが容易である。  
ただし、狭い場所や見通しの悪い場所では注意が必要。



# 伝染鬼

鬼の亜種。

特殊な力をもつ最も危険な鬼。

伝染鬼が現われた地は必ず滅ぶといわれている。

伝染鬼に襲われた人間は伝染鬼と化し、伝染鬼と化した者に襲われた者もまた伝染鬼と化す。

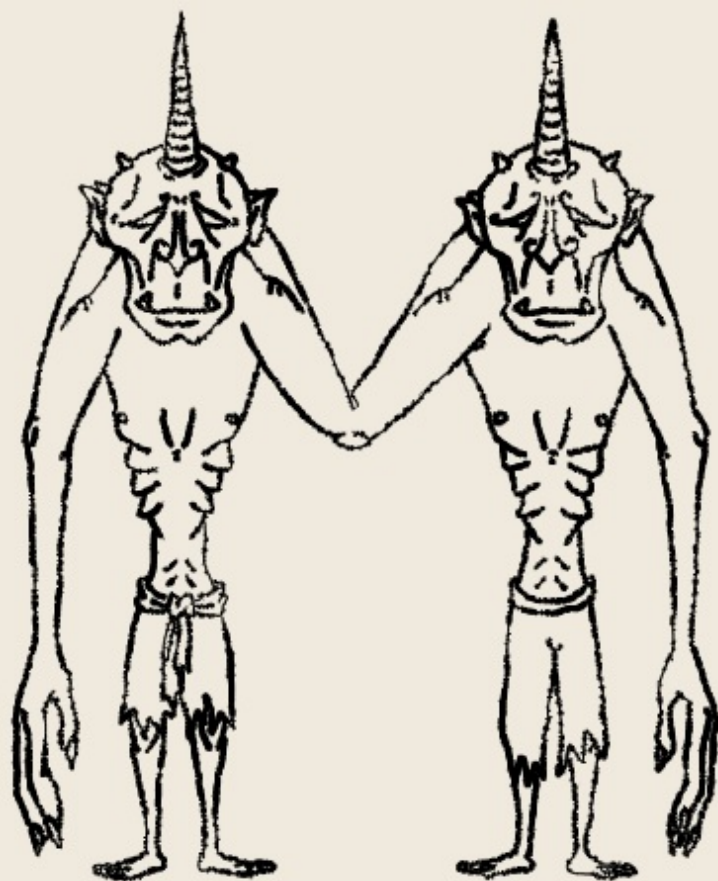




# 手繋鬼

鬼の亜種。

伝染鬼に似た特殊な力をもつ恐ろしい鬼。裏われた人間の腕は手繋鬼の腕と同化してしまい、手繋鬼と化す。四人まで同化すると二人づつに分裂し増殖していくが、伝染鬼と比べると個体数は少なくなるので助かる可能性はある。



じゅうじおに

# 十字鬼

鬼の亜種。

特殊な力をもつ鬼で、人間を襲う際にルールを設ける。

『田』の字型の魔方陣による結界を作り何人かを閉じ込め、

十字鬼もその中に入る。

十字鬼は『田』の字の十字部分のみを移動し、人間は四角部分

を一定方向（右回りか左回りか）のみ動ける。

十字鬼が宣言した回数だけ四角部分を回ることができれば助かる。



きずおに

# 傷鬼

鬼の亜種。  
伝染鬼と同じような特殊な力をもつ鬼で、もともとは人間。  
傷鬼に襲われた人間は傷鬼になってしまいが、襲った傷鬼は人間  
に戻る事ができる。  
そして傷鬼になってしまった者は襲われた箇所を押さえ、痛みに  
耐えながら人間を襲いはじめる。  
人間に戻るまで傷が癒えることはない。



# 隠鬼

鬼の亜種。  
特殊な力を持ち、人間を襲う際にルールを設ける鬼。  
直接人間を襲うことはなく、隠鬼自身は物陰に隠れているだけである。  
しかし伝染鬼と並ぶほどの恐ろしい力をもっており、人間は隠鬼を見た  
だけで倒れてしまう。  
そしてその倒れた人間、つまりいなくなった者を探しに来た人間もまた  
隠鬼を見てその場で倒れてしまう。  
その繰り返しで人間を全滅させてしまうのだ。



まほうおに

# 魔法鬼

鬼の亜種。  
鬼族の中でも最も特殊な力に長けた鬼。  
木鬼や氷鬼のように人間を別のものに変化させる力を持っているが、魔法鬼の意思で自由に変わることができる。  
襲った人間に「○○になれ」と言うだけで、それに変化してしまう。  
ただし、鬼に変えることはできない。  
氷鬼と同じく変化された者に触れることで元に戻すことができる。



終

## 鬼凶鑑

<http://p.booklog.jp/book/42401>



著者：ニジェマス

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/samejin/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42401>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42401>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.